

高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第10期）
策定のためのアンケート調査結果報告書（抜粋版）

令和8年3月

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査の方法.....	1
3.	回収の状況.....	1
4.	報告書の見方.....	1
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果	2
1.	回答者の属性について.....	2
2.	介護について.....	5
3.	要介護状態になる各リスクについて.....	8
4.	外出について.....	9
5.	社会参加について.....	16
6.	たすけあいについて.....	19
7.	情報収集について.....	20
8.	相談窓口について.....	21
9.	市に充実を希望する高齢者施策について.....	23
10.	調査結果にみる現状と課題.....	24

I 調査概要

1. 調査の目的

市内在住の65歳以上の人の健康状態や生活、介護の状況、介護保険に対するご意見やご要望等をお聞きするとともに、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定と効果評価を目的にアンケート調査を実施しました。

2. 調査の方法

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	ケアマネジャー調査	事業所調査
対象	市内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない人 3,800人（無作為抽出）	市内で在宅生活をしている要介護認定者1,000人（過去に要支援、要介護認定の更新、区分変更申請をされた人を無作為に抽出）	市内に所在する居宅介護支援事業者のケアマネジャー77人（悉皆）	市内で介護保険サービスを提供している事業所、高砂市の指定を受けている事業所196件（悉皆）
調査期間	令和7年11月28日から令和8年1月8日			
調査方法	郵送による配布、 郵送またはWebフォームによる回収		郵送による配布、 Webフォームによる回収	

3. 回収の状況

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	ケアマネジャー調査	事業所調査
配布数	3,800部	1,000部	77部	196部
回収数	3,195部	771部	64部	115部
回収率	84.1%	77.1%	83.1%	58.7%
有効回収数	3,135部	759部	64部	112部
有効回収率	82.5%	75.9%	83.1%	57.1%

4. 報告書の見方

- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝複数回答）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）等記載しています。回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。
- 無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「無回答」として処理しています。また、「無回答」はグラフ・表から除いている場合があります。
- 【全体】のコメントは単純集計の結果によるものです。【年齢】や【日常生活圏域】などのコメントはクロス集計結果によるものです（例：【年齢】は、その設問を年代別にクロス集計した結果です）。
- グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。
- クロス集計内の網掛けは、クロス項目（表側の項目）ごとの上位3項目を示しており、数値が大きくなるに従って網掛けの色が濃くなります。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

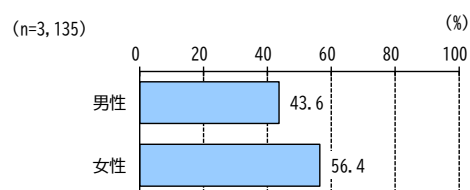
1. 回答者の属性について

性別

【全体】

- 「男性」が43.6%、「女性」が56.4%となっています。

【性別】

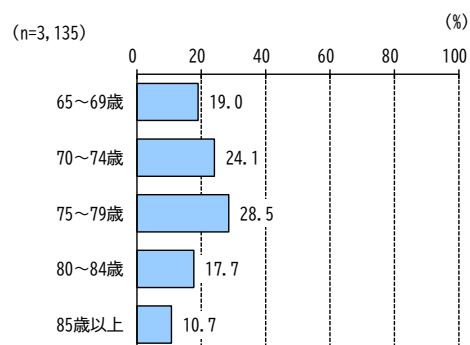


年齢

【全体】

- 「75～79歳」が28.5%で最も多く、次いで「70～74歳」が24.1%、「65～69歳」が19.0%となっています。

【年齢】

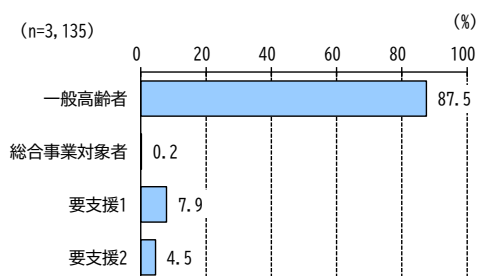


認定該当状況

【全体】

- 「一般高齢者」が87.5%で最も多く、次いで「要支援1」が7.9%、「要支援2」が4.5%となっています。

【認定該当状況】

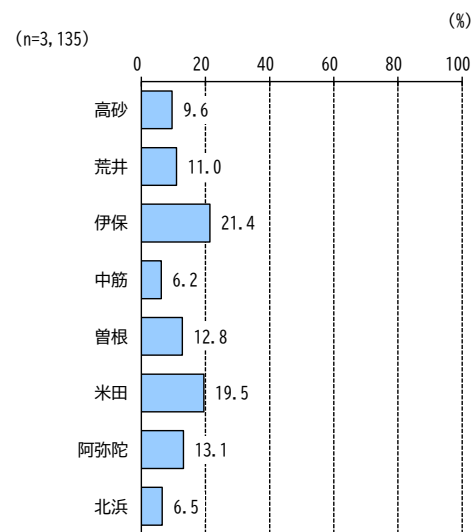


日常生活圏域

【全体】

○ 「伊保」が21.4%で最も多く、次いで「米田」が19.5%、「阿弥陀」が13.1%となっています。

【日常生活圏域】



世帯構成（問1－1：単数回答）

【全体】

- 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.4%で最も多く、次いで「1人暮らし」が21.4%、「その他」が16.1%となっています。

【性別・年齢】

- 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」、女性-後期高齢者は「1人暮らし」が最も多くなっています。

【年齢】

- 65～74歳・75～84歳は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」、85歳以上は「1人暮らし」が最も多くなっています。

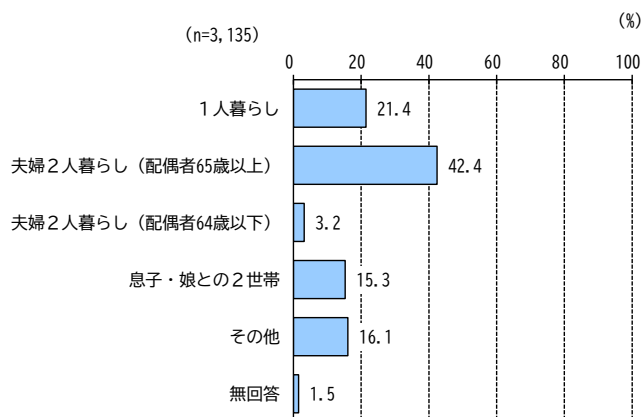
【日常生活圏域】

- どの日常生活圏域でも「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」、総合事業対象者、要支援1・2は「1人暮らし」が最も多くなっています。

【世帯構成】



単位：%

		母数 (n)	問1.1 家族構成を教えてください。					
			1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		3,135	21.4	42.4	3.2	15.3	16.1	1.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	13.9	44.2	10.4	12.9	17.9	0.7
	後期高齢者	769	14.0	55.9	2.2	11.2	14.7	2.0
	女性 前期高齢者	754	17.4	43.4	1.3	17.6	19.1	1.2
	後期高齢者	1,015	34.4	30.3	1.2	18.2	14.0	1.9
年齢	65～74歳	1,351	15.8	43.7	5.3	15.5	18.6	1.0
	75～84歳	1,449	23.5	44.7	1.6	14.4	14.2	1.5
	85歳以上	335	34.6	26.9	1.8	18.5	14.6	3.6
日常生活圏域	高砂	301	23.9	42.9	3.0	15.9	13.3	1.0
	荒井	344	19.8	41.9	2.9	20.6	13.4	1.5
	伊保	671	22.4	40.1	4.0	13.0	18.8	1.8
	中筋	193	25.9	38.9	2.6	17.1	15.0	0.5
	曽根	400	16.8	48.0	2.5	15.3	16.0	1.5
	米田	611	25.5	40.3	2.9	13.6	16.4	1.3
	阿弥陀	412	18.7	45.1	3.4	15.5	15.5	1.7
	北浜	203	15.3	43.3	3.9	16.7	18.2	2.5
該認定状況	一般高齢者	2,742	19.0	44.5	3.5	15.0	16.6	1.4
	総合事業対象者、要支援1・2	393	38.2	27.7	1.3	17.8	12.7	2.3

2. 介護について

介護・介助の必要性（問1－2：単数回答）

【全体】

- 「介護・介助は必要ない」が80.3%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.3%、「現在、何らかの介護を受けている」が6.7%となっています。

【性別・年齢】

- どの性別・年齢でも「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。

【年齢】

- どの年代でも「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。

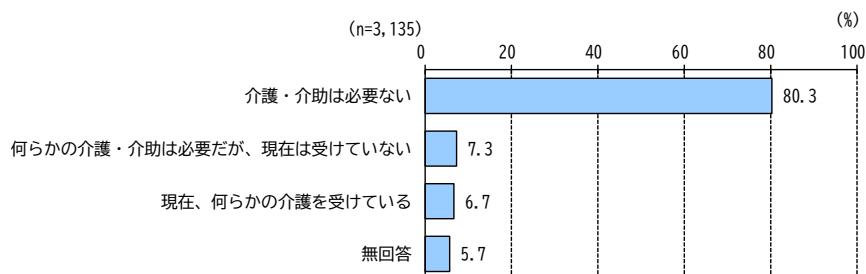
【認定該当状況】

- 一般高齢者は「介護・介助は必要ない」、総合事業対象者、要支援1・2は「現在、何らかの介護を受けている」が最も多くなっています。

【世帯類型】

- どの世帯類型でも「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。

【介護・介助の必要性】



単位：%

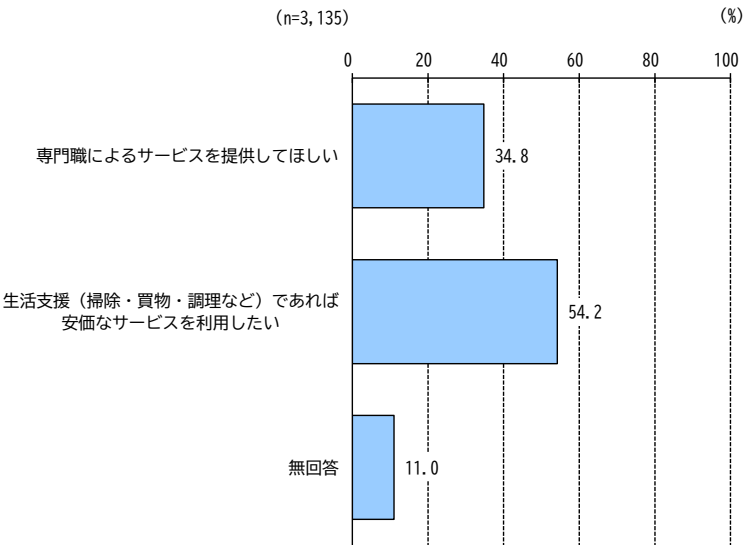
単位：％

		母数 (n)	問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。			
			介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		3,135	80.3	7.3	6.7	5.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	88.9	4.4	2.5	4.2
	後期高齢者	769	77.5	10.3	7.3	4.9
	女性 前期高齢者	754	88.7	2.4	2.9	6.0
	後期高齢者	1,015	71.0	10.3	11.6	7.0
年齢	65～74歳	1,351	88.8	3.3	2.7	5.2
	75～84歳	1,449	79.0	8.0	6.6	6.3
	85歳以上	335	51.3	20.3	23.3	5.1
当 認 状 定 況 該	一般高齢者	2,742	86.9	4.9	2.3	5.8
	総合事業対象者、要支援1・2	393	33.8	23.7	37.4	5.1
世帯類型	1人暮らし	671	72.9	9.1	10.9	7.2
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	85.3	6.0	4.7	4.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	101	83.2	7.9	3.0	5.9
	息子・娘との2世帯	481	79.0	7.5	7.7	5.8
	その他	506	79.6	7.3	6.1	6.9

訪問介護の利用意向（問11—2：単数回答）

【全体】	
○	「専門職によるサービスを提供してほしい」が 34.8%、「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が 54.2%となっています。
【認定該当状況】	
○	どの認定該当状況でも「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が最も多くなっています。
【世帯類型】	
○	どの世帯類型でも「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が最も多くなっています。

【訪問介護の利用意向】



単位：％

		母数 (n)	問11.2 現在又は将来、訪問介護（ヘルパー）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。		
			専門職によるサービスを提供してほしい	生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい	無回答
全体		3,135	34.8	54.2	11.0
当 認 状 況 該	一般高齢者	2,742	36.4	54.3	9.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	23.9	53.7	22.4
世 帯 類 型	１人暮らし	671	24.6	61.0	14.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	34.8	55.7	9.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	33.7	53.5	12.9
	息子・娘との２世帯	481	43.7	46.6	9.8
	その他	506	40.7	49.8	9.5

通所介護の利用意向（問11—3：単数回答）

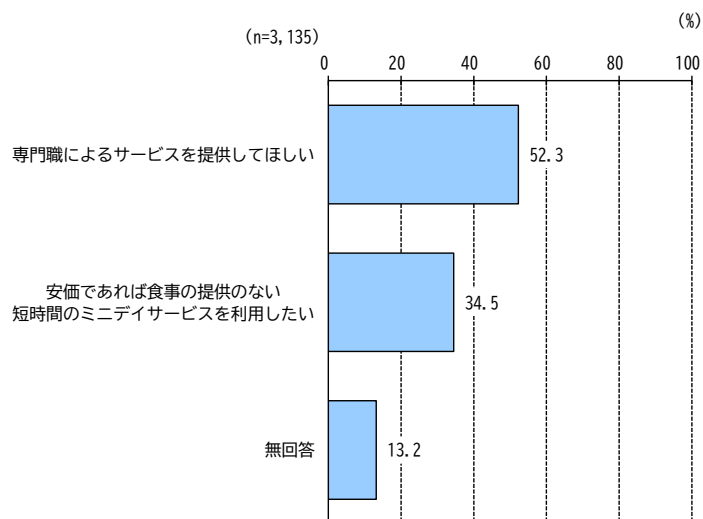
【全体】

- 「専門職によるサービスを提供してほしい」が 52.3%、「安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい」が 34.5%となっています。

【性別・年齢】

- どの性別・年齢でも「専門職によるサービスを提供してほしい」が最も多くなっています。

【通所介護の利用意向】



単位：%

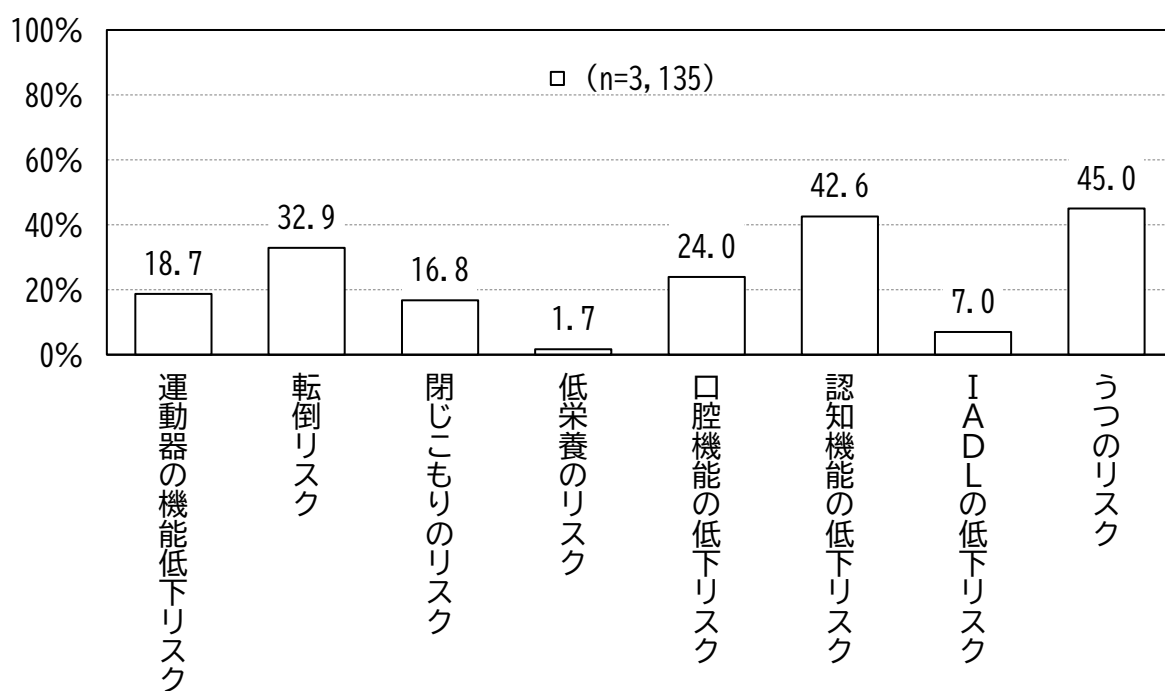
		母数 (n)	問11.3 現在又は将来、通所介護（デイ）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。		
			専門職によるサービスを提供してほしい	安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい	無回答
全体		3,135	52.3	34.5	13.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	53.4	39.5	7.0
	後期高齢者	769	48.9	37.6	13.5
	女性 前期高齢者	754	59.2	32.9	8.0
	後期高齢者	1,015	49.1	30.5	20.4

3. 要介護状態になる各リスクについて

■国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手引き等を踏まえ、要介護状態になる各リスクについて以下のように整理しています。

リスク等	判定項目
運動器の機能低下	問 2-(1) ～(5) の5項目のうち3項目以上で該当する選択肢を回答した場合
転倒	問 2-(4) で該当する選択肢を回答した場合
閉じこもり	問 2-(6) で該当する選択肢を回答した場合
低栄養	問 3-(1) でBMI が18.5 以下で、問 3-(7) に該当する場合
口腔機能の低下	問 3-(2) ～(4) の3項目のうち2項目以上に該当する場合
認知機能の低下	問 4-(1) に該当する場合
IADL 低下※	問 4-(4) ～(8) の5項目で「できるし、している」または「できるけどしていない」を1点とし、合計値が3点以下であればリスク有り
うつ傾向	問 8-(3) ～(4) の2項目のうち1項目でも該当する場合

※買物、洗濯、電話、薬の管理など活動的な日常生活を送るための動作のことを、「手段的日常生活動作 (Instrument Activity of Daily Living: IADL)」といい、その自立度から、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができます。



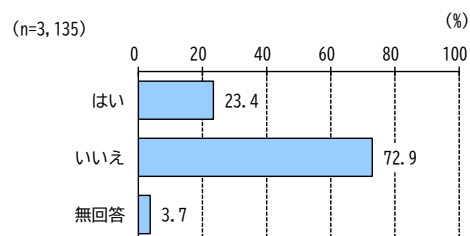
4. 外出について

外出控えの有無（問2－8：単数回答）

【全体】

- 「はい」が23.4%、「いいえ」が72.9%となっています。

【外出控えの有無】



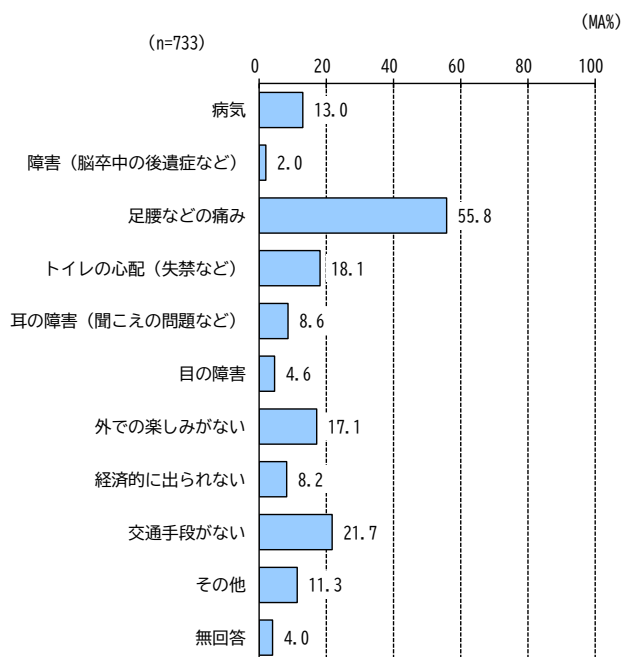
【外出を控えている方のみ回答】

外出を控える理由（問2－8－1：複数回答）

【全体】

- 「足腰などの痛み」が55.8%で最も多く、次いで「交通手段がない」が21.7%、「トイレの心配（失禁など）」が18.1%となっています。

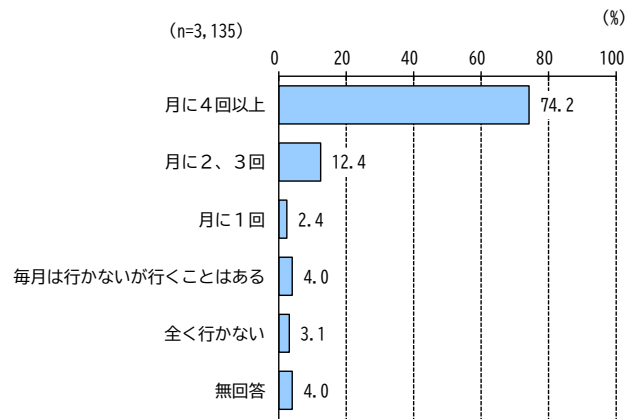
【外出を控える理由】



買物の頻度（問2－9：単数回答）

【全体】
○ 「月に4回以上」が74.2%で最も多く、次いで「月に2、3回」が12.4%、「毎月は行かないが
行くことはある」が4.0%となっています。

【買物の頻度】

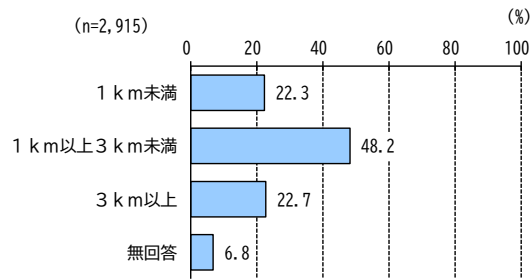


【買物に行く方のみ回答】

買物先までの距離（問2－9－1：単数回答）

【全体】
○ 「1 km以上3 km未満」が48.2%で最も多く、次いで「3 km以上」が22.7%、「1 km未満」が22.3%となっています。
【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「1 km以上3 km未満」が最も多くなっています。

【買物先までの距離】

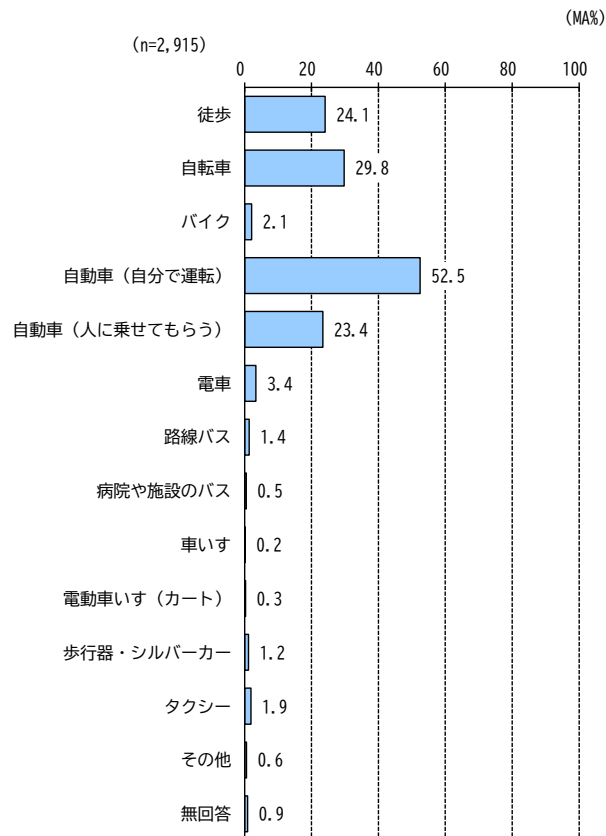


		母数 (n)	問2.9-1 主に買物に行っている店舗までの距離はどれくらいですか。			
			1 k m 未 満	1 k m 以 上	3 k m 以 上	無 回 答
全体		2,915	22.3	48.2	22.7	6.8
日 常 生 活 圏 域	高砂	281	15.3	40.9	38.4	5.3
	荒井	323	18.0	57.0	17.6	7.4
	伊保	622	30.1	44.5	19.1	6.3
	中筋	178	17.4	48.9	25.8	7.9
	曾根	372	19.9	48.9	23.9	7.3
	米田	560	30.5	51.6	10.9	7.0
	阿弥陀	386	12.4	50.0	30.6	7.0
	北浜	193	20.2	39.9	32.6	7.3

買物の移動手段（問2－9－2：複数回答）

- 【全体】
- 「自動車（自分で運転）」が 52.5%で最も多く、次いで「自転車」が 29.8%、「徒歩」が 24.1%となっています。
- 【性別・年齢】
- 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「自動車（自分で運転）」、女性-後期高齢者は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっています。
- 【年齢】
- 65～74 歳・75～84 歳は「自動車（自分で運転）」、85 歳以上は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっています。
- 【日常生活圏域】
- どの日常生活圏域でも「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 一般高齢者は「自動車（自分で運転）」、総合事業対象者、要支援1・2は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっています。
- 【世帯類型】
- どの世帯類型でも「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

【買物の移動手段】



単位：％

		母数 (n)	問2.9-2 主に買物に行っている店舗まではどのようにして行きますか。(MA)						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体		2,915	24.1	29.8	2.1	52.5	23.4	3.4	1.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	567	22.2	20.3	3.9	80.2	6.5	1.6	0.4
	後期高齢者	693	18.6	32.6	2.5	64.6	11.7	2.3	1.4
	女性 前期高齢者	733	23.2	31.2	1.4	55.5	28.4	3.3	0.1
	後期高齢者	922	30.0	32.5	1.3	23.8	38.5	5.5	3.1
年齢	65～74歳	1,300	22.8	26.5	2.5	66.3	18.8	2.5	0.2
	75～84歳	1,330	25.0	33.5	2.0	46.8	24.1	4.0	2.3
	85歳以上	285	26.0	28.1	1.1	15.8	40.7	4.9	3.2
日常生活圏域	高砂	281	22.8	28.1	1.1	49.1	26.3	7.8	2.8
	荒井	323	22.6	32.8	1.2	52.6	26.6	3.4	0.9
	伊保	622	26.8	33.1	2.4	50.3	22.2	1.4	0.2
	中筋	178	21.3	27.5	1.7	44.9	25.8	7.3	1.1
	曾根	372	22.0	33.9	1.1	52.7	26.1	3.8	0.8
	米田	560	33.9	32.0	2.3	50.9	20.7	2.9	2.7
	阿弥陀	386	15.3	21.0	2.6	63.2	19.7	2.1	2.3
	北浜	193	15.0	22.8	4.7	53.4	24.9	3.6	0.5
当該状況	一般高齢者	2,590	24.1	31.1	2.2	57.0	20.3	3.3	1.1
	総合事業対象者、要支援1・2	325	23.7	20.0	0.9	16.0	47.4	4.3	4.3
世帯類型	1人暮らし	614	31.3	31.4	2.0	41.5	19.7	6.8	4.1
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,250	21.2	30.4	1.9	59.2	22.3	2.0	0.6
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	96	14.6	19.8	3.1	71.9	16.7	3.1	1.0
	息子・娘との2世帯	451	25.1	33.0	2.0	45.2	29.7	3.5	0.9
	その他	464	23.7	25.6	2.8	52.2	25.9	2.4	1.1

単位：％

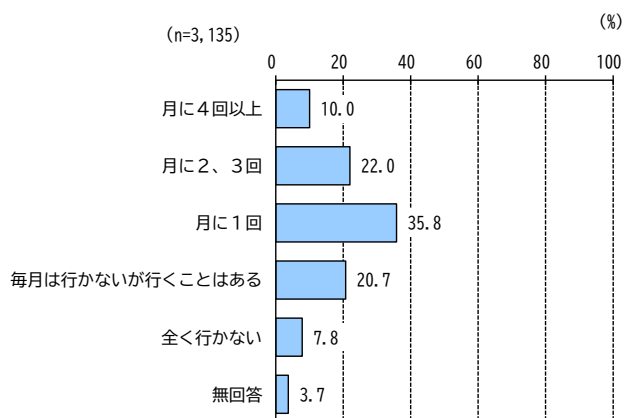
		母数 (n)	問2.9-2 主に買物に行っている店舗まではどのようにして行きますか。(MA)						
			病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,915	0.5	0.2	0.3	1.2	1.9	0.6	0.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	567	0.2	0.2	0.2	-	0.2	0.5	0.7
	後期高齢者	693	0.3	-	0.3	0.6	1.6	0.3	1.3
	女性 前期高齢者	733	-	0.1	-	0.4	0.5	0.4	0.7
	後期高齢者	922	1.2	0.3	0.5	3.1	4.3	1.0	1.0
年齢	65～74歳	1,300	0.1	0.2	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7
	75～84歳	1,330	0.5	0.1	0.3	1.3	1.8	0.7	0.9
	85歳以上	285	2.5	0.7	1.1	5.6	9.5	0.7	2.1
日常生活圏域	高砂	281	1.4	0.4	-	2.8	3.9	1.1	0.7
	荒井	323	-	-	0.3	1.2	2.8	-	0.3
	伊保	622	-	-	0.5	1.3	1.3	0.2	0.6
	中筋	178	1.1	-	0.6	1.1	1.7	1.1	1.7
	曾根	372	0.5	0.3	-	0.5	1.9	0.5	1.6
	米田	560	0.9	0.2	0.4	1.8	2.0	1.1	1.1
	阿弥陀	386	0.3	0.5	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5
	北浜	193	-	-	-	-	2.1	1.0	1.6
当該状況	一般高齢者	2,590	0.1	0.1	-	0.4	0.7	0.5	1.0
	総合事業対象者、要支援1・2	325	3.7	0.9	2.5	8.0	12.0	0.9	0.6
世帯類型	1人暮らし	614	1.1	0.3	0.8	2.6	5.4	0.3	1.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,250	0.4	0.1	-	0.7	0.8	0.3	0.8
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	96	-	1.0	-	1.0	1.0	2.1	2.1
	息子・娘との2世帯	451	0.2	0.2	0.4	0.7	1.6	0.7	0.4
	その他	464	0.2	-	0.2	1.1	0.6	1.1	1.1

通院の頻度（問2－10：単数回答）

【全体】

- 「月に1回」が35.8%で最も多く、次いで「月に2、3回」が22.0%、「毎月は行かないが行くことはある」が20.7%となっています。

【通院の頻度】



【通院している方のみ回答】

病院までの距離（問2－10-1：単数回答）

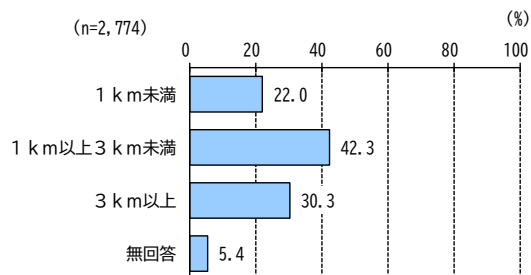
【全体】

- 「1 km以上3 km未満」が42.3%で最も多く、次いで「3 km以上」が30.3%、「1 km未満」が22.0%となっています。

【日常生活圏域】

- 高砂・荒井・伊保・中筋・米田・北浜は「1 km以上3 km未満」、曽根・阿弥陀は「3 km以上」が最も多くなっています。

【病院までの距離】



単位：%

		母数 (n)	問2.10-1 主に通っている病院までの距離はどれくらいですか。			
			1 k m 未 満	3 k m 未 満 以上	3 k m 以上	無 回 答
全体		2,774	22.0	42.3	30.3	5.4
日常生活圏域	高砂	268	28.4	41.8	23.1	6.7
	荒井	309	33.7	40.8	21.4	4.2
	伊保	587	24.7	43.4	26.9	4.9
	中筋	173	20.2	38.7	34.7	6.4
	曽根	364	10.4	41.8	42.9	4.9
	米田	533	27.4	43.7	23.1	5.8
	阿弥陀	370	12.2	39.7	41.6	6.5
	北浜	170	11.8	48.2	36.5	3.5

通院の移動手段（問2-10-2：複数回答）

【全体】

- 「自動車（自分で運転）」が45.6%で最も多く、次いで「自転車」が25.1%、「自動車（人に乗せてもらう）」が21.9%となっています。

【性別・年齢】

- 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「自動車（自分で運転）」、女性-後期高齢者は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっています。

【年齢】

- 65～74歳・75～84歳は「自動車（自分で運転）」、85歳以上は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】

- どの日常生活圏域でも「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

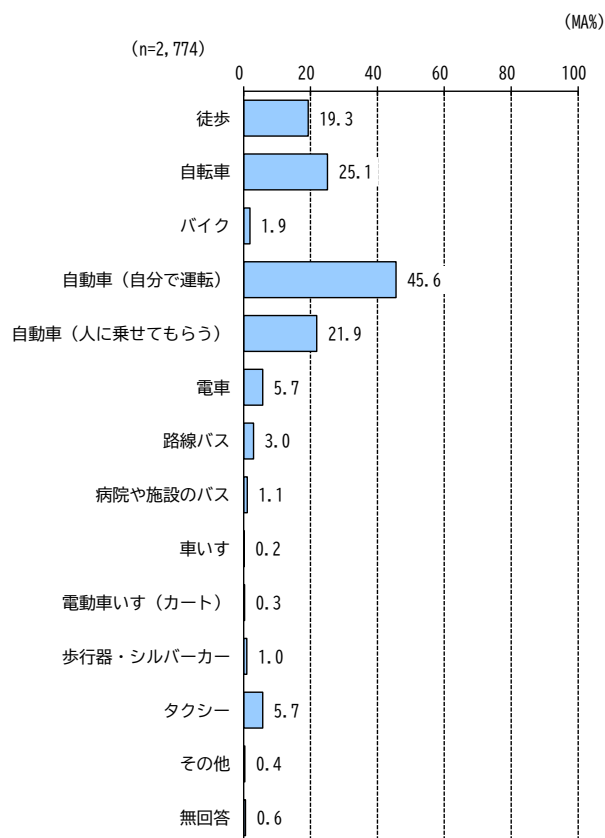
【認定該当状況】

- 一般高齢者は「自動車（自分で運転）」、総合事業対象者、要支援1・2は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっています。

【世帯類型】

- どの世帯類型でも「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

【通院の移動手段】



単位：％

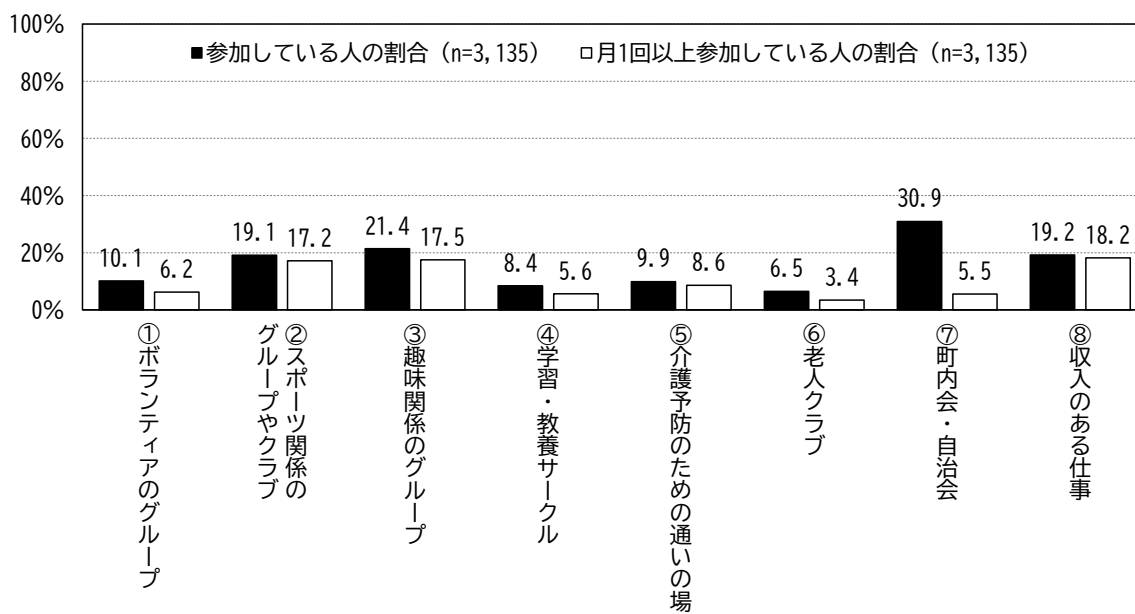
		母数 (n)	問2.10-2 主に通っている病院まではどのようにして行きますか。 (MA)						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体		2,774	19.3	25.1	1.9	45.6	21.9	5.7	3.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	521	16.3	17.5	3.6	69.7	6.5	4.2	1.3
	後期高齢者	704	17.6	28.7	2.8	55.5	14.5	5.1	3.0
	女性 前期高齢者	645	17.8	25.3	0.9	50.9	21.4	3.9	1.6
	後期高齢者	904	23.5	26.4	0.8	20.4	36.9	8.2	5.1
年齢	65～74歳	1,166	17.2	21.8	2.1	59.3	14.8	4.0	1.5
	75～84歳	1,309	21.0	29.0	1.8	40.9	23.6	7.5	4.0
	85歳以上	299	20.4	20.7	1.0	13.0	42.5	4.0	5.0
日常生活圏域	高砂	268	25.0	28.7	1.1	41.0	17.9	6.7	1.9
	荒井	309	28.5	29.4	1.0	37.9	20.7	4.5	1.3
	伊保	587	18.2	28.4	2.2	45.3	22.8	3.6	3.4
	中筋	173	21.4	22.0	1.2	41.6	23.1	6.4	1.7
	曾根	364	12.4	23.6	2.2	47.8	23.6	9.3	4.1
	米田	533	25.1	25.7	1.5	42.4	21.8	5.3	4.7
	阿弥陀	370	11.1	16.5	1.4	58.1	20.3	4.6	3.2
	北浜	170	10.0	22.4	5.9	50.6	26.5	8.2	-
当該認定状況	一般高齢者	2,402	19.8	27.0	2.0	50.8	17.7	5.7	2.6
	総合事業対象者、要支援1・2	372	16.4	12.4	1.1	12.4	49.2	5.1	5.6
世帯類型	1人暮らし	585	24.1	25.3	1.2	36.9	20.2	6.7	5.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,185	17.8	25.1	2.2	51.5	19.3	5.1	1.7
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	89	9.0	19.1	2.2	62.9	15.7	3.4	1.1
	息子・娘との2世帯	431	19.0	25.5	1.4	39.4	27.8	6.5	3.2
	その他	442	19.0	25.6	2.3	45.0	26.2	5.7	3.6

単位：％

		母数 (n)	問2.10-2 主に通っている病院まではどのようにして行きますか。 (MA)						
			病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行者・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,774	1.1	0.2	0.3	1.0	5.7	0.4	0.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	521	0.8	-	0.2	-	1.5	0.2	0.4
	後期高齢者	704	1.0	0.3	0.3	0.6	4.7	0.3	0.4
	女性 前期高齢者	645	0.9	0.2	-	-	2.2	0.3	0.3
	後期高齢者	904	1.4	0.3	0.4	2.8	11.3	0.8	1.1
年齢	65～74歳	1,166	0.9	0.1	0.1	-	1.9	0.3	0.3
	75～84歳	1,309	1.1	0.2	0.2	1.1	6.8	0.7	0.5
	85歳以上	299	1.7	0.7	1.3	4.7	15.4	-	2.0
日常生活圏域	高砂	268	2.6	0.4	-	1.9	10.1	0.4	1.1
	荒井	309	1.0	-	0.3	1.9	6.1	0.3	0.3
	伊保	587	0.9	0.2	0.3	1.0	5.6	0.2	0.2
	中筋	173	-	-	0.6	1.2	8.1	-	-
	曾根	364	0.5	0.3	-	0.5	4.9	0.5	0.5
	米田	533	1.7	0.4	0.6	1.3	3.4	0.4	1.1
	阿弥陀	370	0.5	0.3	-	0.3	4.9	0.8	0.8
	北浜	170	1.2	-	-	-	5.9	1.2	0.6
当該認定状況	一般高齢者	2,402	0.9	0.1	-	0.4	2.7	0.4	0.5
	総合事業対象者、要支援1・2	372	2.2	1.1	1.9	5.4	24.5	0.8	1.1
世帯類型	1人暮らし	585	0.9	-	0.5	2.7	12.0	0.3	1.0
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,185	0.8	0.3	0.1	0.4	3.1	0.4	0.5
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	89	2.2	-	-	1.1	4.5	-	2.2
	息子・娘との2世帯	431	1.4	0.5	0.5	0.9	6.3	0.7	0.2
	その他	442	1.6	0.2	0.2	0.5	3.6	0.5	0.2

5. 社会参加について

以下の会・グループ等への参加状況（問5-1：それぞれ単数回答）



現在の就労状況（問6－1：複数回答）

【全体】

- 「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が 61.1%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 11.6%、「職に就いたことがない」が 7.4%となっています。

【性別・年齢】

- どの性別・年齢でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。

【年齢】

- どの年代でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】

- どの日常生活圏域でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。

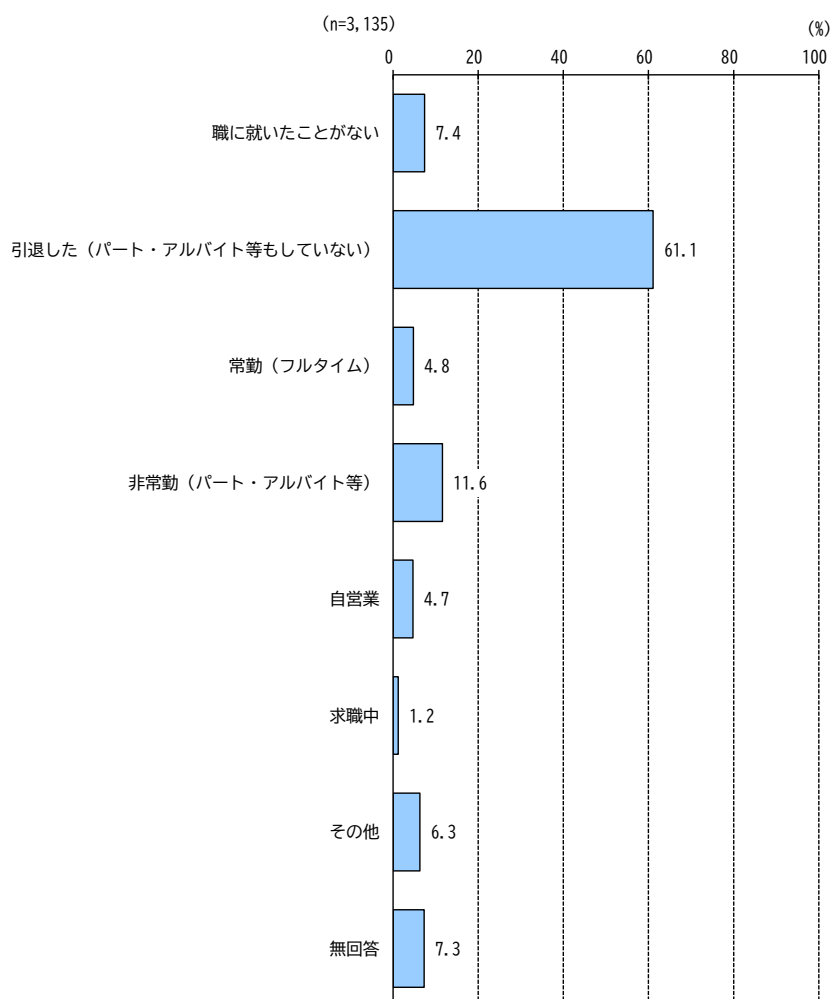
【認定該当状況】

- どの認定該当状況でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。

【世帯類型】

- どの世帯類型でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。

【現在の就労状況】



単位：％

		母数 (n)	問6.1 現在のあなたの就労状態はどれですか。								単位：%
			職に就いたことがない	引退した（パート・アルバイト等もしていない）	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答	
全体		3,135	7.4	61.1	4.8	11.6	4.7	1.2	6.3	7.3	
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	1.0	52.9	14.4	20.1	7.2	2.2	3.7	3.9	
	後期高齢者	769	3.5	73.9	2.6	6.0	5.6	1.7	6.4	5.5	
	女性 前期高齢者	754	6.9	54.8	3.6	20.8	3.6	1.3	7.0	4.2	
	後期高齢者	1,015	14.5	60.9	1.8	4.0	3.3	0.3	7.2	13.0	
年齢	65～74歳	1,351	4.3	54.0	8.4	20.5	5.2	1.7	5.6	4.1	
	75～84歳	1,449	9.0	67.1	2.4	5.8	4.8	0.9	6.3	8.6	
	85歳以上	335	13.1	63.6	0.9	0.9	2.1	0.9	9.0	14.9	
日常生活圏域	高砂	301	6.0	59.5	5.3	11.6	9.3	1.0	7.3	5.3	
	荒井	344	7.8	61.3	2.6	12.2	7.3	2.0	7.0	6.4	
	伊保	671	6.6	61.4	4.6	12.2	3.9	1.0	6.3	7.9	
	中筋	193	7.8	62.2	4.7	9.8	2.1	1.0	7.3	9.8	
	曾根	400	9.0	61.0	4.5	10.0	4.0	1.3	7.3	7.3	
	米田	611	7.4	59.1	5.6	12.4	4.3	1.1	5.1	8.7	
	阿弥陀	412	8.3	61.7	5.1	11.9	4.1	1.2	6.1	6.1	
	北浜	203	6.4	66.0	6.4	10.3	2.0	1.5	4.9	5.9	
当認状況該	一般高齢者	2,742	6.6	60.4	5.4	13.0	5.1	1.3	5.9	6.4	
	総合事業対象者、要支援1・2	393	13.2	65.9	1.0	1.8	1.5	0.5	8.7	13.7	
世帯類型	1人暮らし	671	9.1	62.1	3.4	10.0	2.7	1.3	6.7	9.4	
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	6.1	62.6	4.7	12.3	5.5	1.1	5.8	6.5	
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	101	1.0	52.5	13.9	16.8	3.0	2.0	5.9	8.9	
	息子・娘との2世帯	481	9.8	62.4	4.2	10.6	5.2	1.5	5.0	5.8	
	その他	506	7.5	57.1	6.1	12.3	4.9	1.4	8.9	5.7	

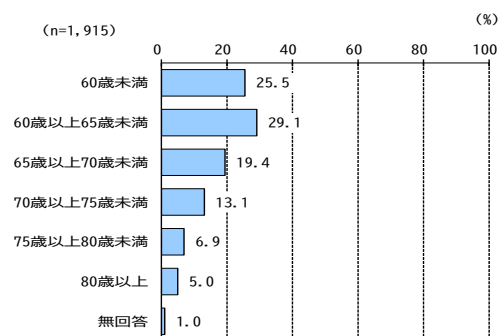
【引退した（パート・アルバイト等もしていない）方のみ回答】

就労をやめた年齢（問6－1－1：単数回答）

【全体】

- 「60歳以上65歳未満」が29.1%で最も多く、次いで「60歳未満」が25.5%、「65歳以上70歳未満」が19.4%となっています。

【就労をやめた年齢】



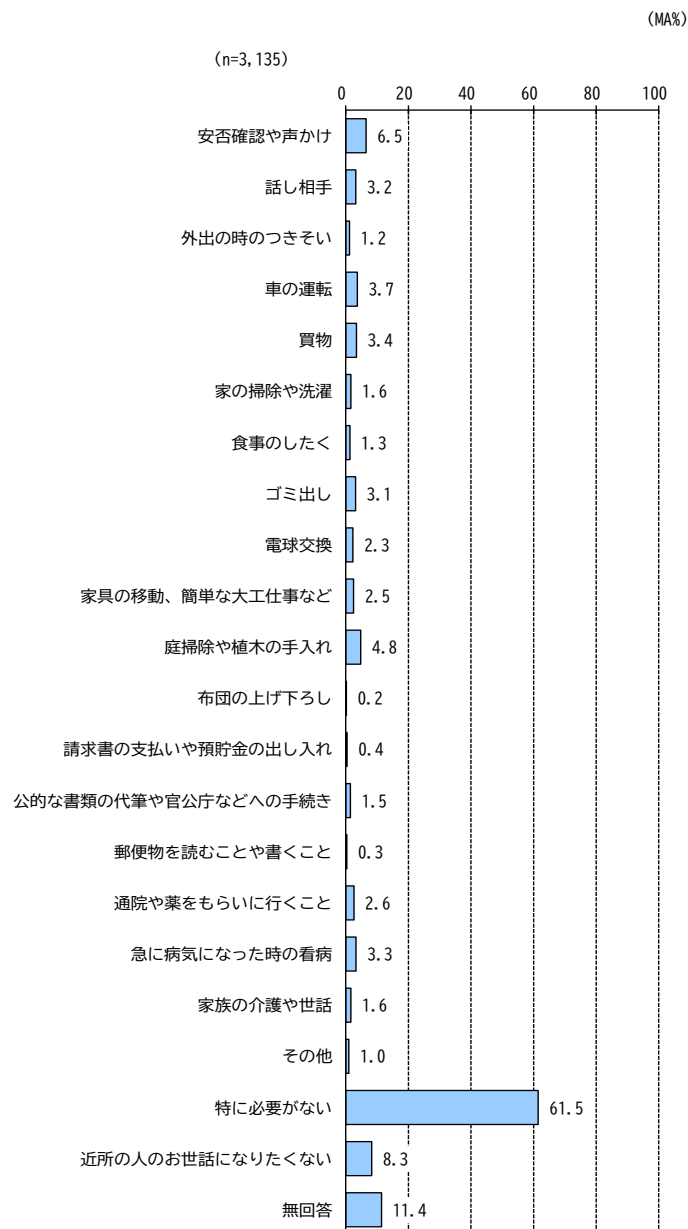
6. たすけあいについて

近所の人から受けたい支援（問10—2：複数回答）

【全体】

- 「特に必要がない」が 61.5%で最も多く、次いで「近所の人のお世話になりたくない」が 8.3%、「安否確認や声かけ」が 6.5%となっています。

【近所の人から受けたい支援】



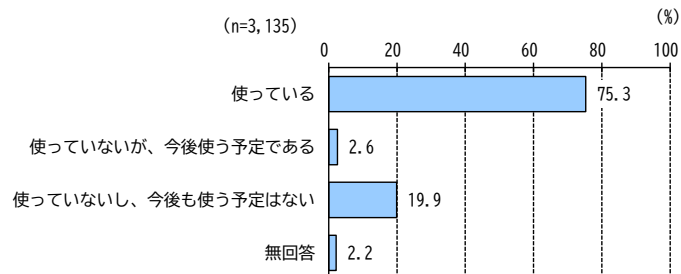
7. 情報収集について

スマートフォン等の利用状況（問4－10：単数回答）

【全体】

- 「使っている」が 75.3%で最も多く、次いで「使っていないし、今後も使う予定はない」が 19.9%、「使っていないが、今後使う予定である」が 2.6%となっています。

【スマートフォン等の利用状況】

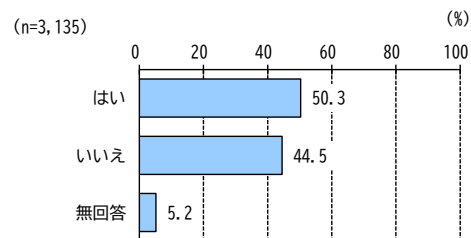


SNS・アプリ等での情報収集（問4－11：単数回答）

【全体】

- 「はい」が 50.3%、「いいえ」が 44.5%となっています。

【SNS・アプリ等での情報収集】



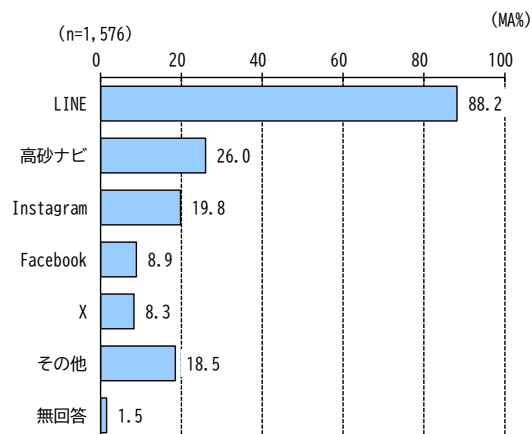
【SNSやアプリを見て情報収集している方のみ回答】

利用中のSNS・アプリ（問4－11-1：複数回答）

【全体】

- 「LINE」が 88.2%で最も多く、次いで「高砂ナビ」が 26.0%、「Instagram」が 19.8%となっています。

【利用中の SNS・アプリ】



8. 相談窓口について

地域包括支援センターの認知（問9－7：単数回答）

【全体】

- 「知っている」が42.1%、「知らない」が49.8%となっています。

【性別・年齢】

- 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「知らない」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「知っている」が最も多くなっています。

【年齢】

- 65～74歳・75～84歳は「知らない」、85歳以上は「知っている」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】

- 高砂は「知っている」、荒井・伊保・中筋・曽根・米田・阿弥陀・北浜は「知らない」が最も多くなっています。

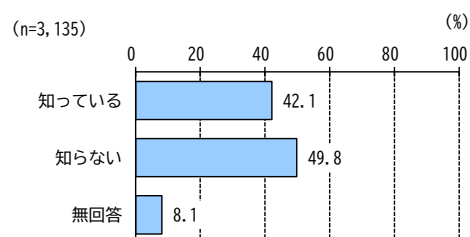
【認定該当状況】

- 一般高齢者は「知らない」、総合事業対象者、要支援1・2は「知っている」が最も多くなっています。

【世帯類型】

- 1人暮らしは「知っている」、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）・夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）・息子・娘との2世帯・その他は「知らない」が最も多くなっています。

【地域包括支援センターの認知】



単位：％

		母数 (n)	問9.7 高砂市地域包括支援センターをご存じですか。		
			知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全体		3,135	42.1	49.8	8.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	32.8	63.7	3.5
	後期高齢者	769	35.5	56.4	8.1
	女性 前期高齢者	754	48.7	45.8	5.6
	後期高齢者	1,015	47.7	39.5	12.8
年齢	65～74歳	1,351	41.7	53.7	4.7
	75～84歳	1,449	41.4	48.6	10.0
	85歳以上	335	46.9	39.1	14.0
日常生活圏域	高砂	301	50.2	41.5	8.3
	荒井	344	44.8	47.7	7.6
	伊保	671	42.2	51.0	6.9
	中筋	193	40.9	46.6	12.4
	曽根	400	37.5	54.3	8.3
	米田	611	40.1	50.9	9.0
	阿弥陀	412	41.7	50.5	7.8
	北浜	203	42.4	50.7	6.9
当該認定状況	一般高齢者	2,742	39.4	52.9	7.7
	総合事業対象者、要支援1・2	393	60.8	28.0	11.2
世帯類型	1人暮らし	671	45.9	43.2	10.9
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	42.6	50.1	7.3
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	101	29.7	63.4	6.9
	息子・娘との2世帯	481	43.2	49.9	6.9
	その他	506	37.5	54.7	7.7

認知症に関する相談窓口の認知（問9－2：単数回答）

【全体】

- 「はい」が30.3%、「いいえ」が63.3%となっています。

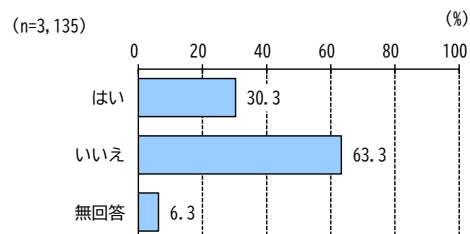
【性別・年齢】

- どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】

- どの日常生活圏域でも「いいえ」が最も多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の認知】



単位：%

		母数 (n)	問9.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	30.3	63.3	6.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	23.5	73.5	3.0
	後期高齢者	769	28.7	64.4	6.9
	女性 前期高齢者	754	34.7	60.3	4.9
	後期高齢者	1,015	32.3	58.7	9.0
日常生活圏域	高砂	301	34.6	58.8	6.6
	荒井	344	29.1	64.8	6.1
	伊保	671	29.5	65.4	5.1
	中筋	193	29.0	62.7	8.3
	曾根	400	24.0	69.0	7.0
	米田	611	29.5	64.0	6.5
	阿弥陀	412	35.9	57.8	6.3
	北浜	203	34.0	59.1	6.9

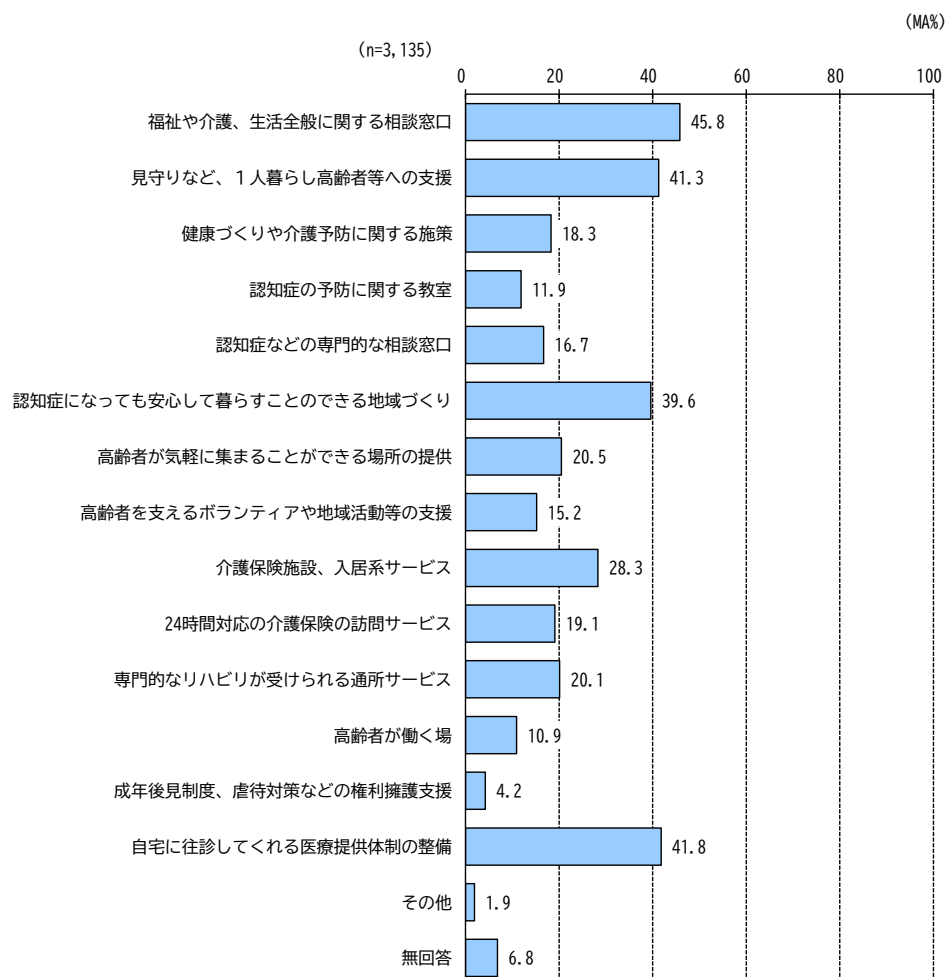
9. 市に充実を希望する高齢者施策について

高齢者施策への要望（問12—2：複数回答）

【全体】

- 「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」が45.8%で最も多く、次いで「自宅に往診してくれる医療提供体制の整備」が41.8%、「見守りなど、1人暮らし高齢者等への支援」が41.3%となっています。

【高齢者施策への要望】



10. 調査結果にみる現状と課題

(1) 回答者の属性・住まいについて

- 回答者の属性について、「男性」が4割、「女性」が6割と女性がやや多くなっています。
- 年齢は、前期高齢者が4割、後期高齢者が6割となっています。
- 日常生活圏域は、伊保、米田が2割、それ以外は1割となっています。
- 回答者に占める認定者（要支援1・2）の割合は1割となっています。
- 世帯類型は、「1人暮らし」が2割、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が4割となっており、あわせると6割以上が高齢者のみの世帯となっています。85 歳以上、特に女性-後期高齢者の3割、総合事業対象者、要支援1・2の4割が「1人暮らし」となっています。
- 経済状況について、4割が現在の暮らしが経済的に苦しいと回答しています。
- 住まいの状況について、全体では持家が約9割となっており、将来的な管理・バリアフリー化の必要性も考えられます。また、1人暮らしは「公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅等）」「民間賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム等の高齢者向け住宅以外の集合住宅）」がそれぞれ1割程度と他の世帯類型と比べて多くなっています。今後の世帯構成の変化も踏まえ、高齢者の居住の安定性の確保について検討していく必要があります。

(2) 介護について

- 介護・介助の必要性について、全体では8割が「介護・介助は必要ない」と回答しています。前期高齢者は、男女ともに9割が「介護・介助は必要ない」と回答していますが、後期高齢者になると介護・介助の必要性が高まり、男女ともに「介護・介助は必要ない」は7～8割となっています。85 歳以上になると「介護・介助は必要ない」は5割と大きく低下します。
- 総合事業対象者、要支援1・2で、「介護・介助は必要ない」と回答している人は3割程度です。また、総合事業対象者、要支援1・2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答している人は2割と多くなっています。要介護認定を受けているが、サービスを使っていない人の状況や、介護・介助が必要な人に適切な支援が届いているかについて、検討する必要があります。
- 介護・介助が必要になった主な原因について、全体では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が2割と多くなっています。
- 主な介護者は、全体では、「配偶者（夫・妻）」「娘」「介護サービスのヘルパー」がそれぞれ3割と多くなっています。1人暮らしは「介護サービスのヘルパー」が4割と他の世帯類型に比べて多くなっています。
- 訪問介護（ヘルパー）サービスについての希望は、全体では、「生活支援（掃除・買い物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が5割、「専門職によるサービスを提供してほしい」が3割となっています。1人暮らしは「生活支援（掃除・買い物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が6割以上と多くなっています。
- 通所介護（デイ）サービスについての希望は、全体では、「専門職によるサービスを提供してほしい」が5割、「安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい」が3割となっています。
- 今後の世帯構成の変化やより多様な選択肢を求める声も踏まえ、ニーズに応じた柔軟なサービス整備について検討する必要があります。

（３）運動・外出について

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」は全体の２割となっていますが、女性-後期高齢者は３割と多くなっています。85歳以上は５割と多くなっています。
- 転倒リスクについて、「該当」は全体の３割となっていますが、後期高齢者は４割と多くなっています。85歳以上は５割と多くなっています。
- 閉じこもりリスクについて、「該当」は全体の２割となっていますが、女性-後期高齢者は２割以上と多くなっています。85歳以上は４割と多くなっています。
- 昨年と比べて外出の回数が減っている人は全体の３割となっていますが、総合事業対象者、要支援１・２は６割の人で外出の回数が減っています。
- 外出を控えている人は全体の２割です。特に、85歳以上は５割が外出を控えていると回答しています。
- 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が６割で最も多く、次いで「交通手段がない」「トイレの心配（失禁など）」が２割で続いています。85歳以上や総合事業対象者、要支援１・２は「交通手段がない」が多くなっています。85歳以上や総合事業対象者、要支援１・２は、買い物・通院の際の交通手段は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっており、移動手段の充実について検討する必要があります。

（４）社会参加について

- 地域活動について、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会、収入のある仕事に参加している人は全体の２～３割程度です。ボランティアのグループ、学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、老人クラブについては、参加している人は全体の１割程度となっています。老人クラブの活動を知らない人は全体の５割となっており、特に 65～74 歳、荒井・中筋・曾根は６割が老人クラブの活動を知らないと回答しています。
- 地域での活動に、どのような支援があれば参加しやすくなるかについて、「交流しやすい雰囲気づくり」が４割で最も多く、次いで「具体的な内容等についての情報提供」が３割、「１人でも参加できるよう初回参加者への支援」が２割で続いています。85歳以上、総合事業対象者、要支援１・２は、「活動の場までの外出・移動支援」が２割と多くなっています。
- 全体の５割が SNS（LINE や Instagram 等）やアプリ等から情報収集をしています。SNS（LINE や Instagram 等）やアプリ等から情報収集をしている人が実際に使用しているのは、「LINE」が９割で最も多くなっています。対象者に合わせた方法による情報提供や、初回参加者支援、85歳以上や総合事業対象者、要支援者への活動の場までの外出・移動支援など、ニーズに合わせた参加促進方法について検討する必要があります。
- 就労状況として、常勤（フルタイム）は 4.8%、非常勤（パート・アルバイト等）は 11.6%、自営業が 4.7%となっています。男性-前期高齢者の１割は常勤（フルタイム）で、非常勤（パート・アルバイト等）は２割となっています。女性-前期高齢者は常勤（フルタイム）は 3.6%で、非常勤（パート・アルバイト等）は２割となっています。

（５）たすけあいについて

- 全体の９割が、何らかの心配事や愚痴を聞いてくれる人がいると回答しています。男性、総合事業対象者、要支援１・２、１人暮らしは「そのような人はいない」が多くなっています。
- 全体の９割が、何らかの心配事や愚痴を聞いてあげる人がいると回答しています。男性-後期高齢者、85歳以上、総合事業対象者、要支援１・２、１人暮らしは「そのような人はいない」が多くなっています。
- 全体の９割が、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいると回答しています。男性-前期高齢者、総合事業対象者、要支援１・２、１人暮らしは「そのような人はいない」と回答して多くなっています。
- 全体の８割が、看病や世話をしてあげる人がいると回答しています。女性-後期高齢者、85歳以上、総合事業対象者、要支援１・２、１人暮らしは「そのような人はいない」が多くなっています。
- 近所の人困っている時に週１・２回程度、金銭をもらって何かしらの支援ができると回答している人は全体の４割です。「近所の人などに、金銭を支払って手助けをしてもらいたいこと」と「近所の人困っている時に週１・２回程度、金銭をもらって何かしらの支援ができる」と回答している人の割合をみると、「急に病気になった時の看病」「家族の介護や世話」以外の項目で「近所の人困っている時に週１・２回程度、金銭をもらって何かしらの支援ができる」と回答している人の割合が上回っています。互助での「支援ができる」ことについては、支援を必要としている人と支援ができる人のマッチングの仕組みづくりとともに、「急に病気になった時の看病」「家族の介護や世話」の支援方法についてより広く方法を検討する必要があります。

（６）健康・医療について

- 現在治療中・後遺症がある病気について、全体の８割が何らかの病気をあげています。「高血圧」が５割で最も多く、次いで「目の病気」「糖尿病」が２割で続いています。
- 低栄養のリスクについて、「該当」は全体の１.7%となっていますが、１人暮らしは多くなっています。
- 口腔機能の低下リスクについて、「該当」は全体の２割となっていますが、後期高齢者特に85歳以上は「該当」が多くなっています。
- 認知機能の低下リスクについて、「該当」は全体の４割となっていますが、後期高齢者特に85歳以上は「該当」が多くなっています。
- うつ病のリスクについて「該当」は全体の５割となっていますが、女性-後期高齢者は５割と多くなっています。85歳以上は５割と多くなっています。
- 主に通っている病院までの距離は「１km以上３km未満」が４割で最も多く、次いで「３km以上」が３割、「１km未満」は２割となっています。日常生活圏域別でみると、高砂、荒井、米田は「１km未満」、曽根、阿弥陀は「３km以上」が他の区分に比べ多くなっており、圏域による差もみられます。
- ８つのリスクの中で、「認知機能の低下リスク」「うつ病のリスク」が多くなっており、特に85歳以上や総合事業対象者、要支援者では「該当」が多くなっています。

（７）相談について

- 市に充実を希望する高齢者施策は「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」が５割で最も多くなっています。
- 自分や家族が認知症になった時あればよい支援として「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が７割で最も多くなっています。
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、全体では、「そのような人はいない」が５割で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が２割、「ケアマネジャー」が１割で続いています。65～74歳は「そのような人はいない」が６割と多くなっています。
- 高砂市地域包括支援センターの認知度は全体では４割で、特に男性の認知度が低い状態です。
- 認知症に関する相談窓口の認知度は全体では３割で、特に男性・前期高齢者の認知度が低い状態です。
- 必要な支援につながるよう相談窓口の周知を進める必要があります。

（８）将来について

- 将来について、「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が６割で最も多くなっています。
- 将来希望する生活について話し合ったことがある人は全体の５割となっています。「話し合い、その結果を紙などに記録している」人は０.８％と非常に少なくなっています。また、男性は、「まったくしていない」が多くなっています。
- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実施状況について、話し合ったことがある人は全体の３割となっています。「話し合い、その結果を紙などに記録している」人は１.２％と非常に少なくなっています。
- 希望する自分らしい暮らしを、人生の最終段階まで続けられるように、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）などの情報を適切に提供するなど、普及・啓発を図る必要があります。

（９）日常生活圏域の状況について

- 各リスクをみると、高砂・中筋は閉じこもりリスクの「該当」が他の圏域に比べ多くなっています。
- 主に買い物に行っている店舗までの距離と店舗までの移動手段、主に通っている病院までの距離と病院までの移動手段は、圏域による差がみられます。圏域ごとの特徴を踏まえて、移動手段の充実について検討する必要があります。
- 地域活動について、町内会・自治会への参加状況は、圏域による差がみられます。
- 荒井・中筋・曽根は６割が老人クラブの活動を知らないと回答しており、地域活動の周知や参加促進について圏域の違いを踏まえて検討する必要があります。